



ホームページ & 公式LINE



発行者：福岡市議会議員 小竹りか
〒815-0041
福岡市南区野間3丁目4-1 川上ビル102号室
TEL.092-559-8155
FAX.092-559-8156

福岡市議会議員〔南区〕

こ た け
小竹りか

★ 目次 1.議会のご報告 2.トピック「鴻臚館 東門」 3.若久校区防災訓練に参加 4.ツナガルプラス 5.ご案内

9月議会のご報告



9月4日(水)～10月9日(水)にわたり開催され、アイランドシティはばたき公園整備事業の増額などの一般会計補正案、福岡市立中学校設置条例の一部を改正する条例案などを審議する定例会と令和5年度(2023年度)の決算審査を行いました。

定例会からのご報告

学びの多様化学校の設置に関する条例改正

不登校の中学生などを対象に柔軟にカリキュラムを組める特例校、「**学びの多様化学校**」を来年春に新設します。名称は「福岡市立百道松原中学校」に決定。40人から60人ほどの受け入れを想定しています。



場所 早良区百道3丁目 福岡市教育センター

特徴

- ・授業時数の低減により、朝や放課後のゆとりを創出
- ・教室以外に様々な居場所をつくり、リラックスできる空間を確保
- ・一人一人の学習状況に応じた学びをサポート・これからの自分を創造するキャリア教育を実施

会派の要望

- 対象を小学生まで広げていくこと
- 遠距離で通学ができない生徒もいるため、設置校を増やしていくこと



TOPIC 決算特別委員会>経済振興分科会(経済観光文化局・農林水産局・港湾空港局)

「鴻臚館 東門」の復元に向け、本格的に動き出しました。

鴻臚館(こうろかん)とは...

飛鳥・奈良・平安時代に中国大陆などからの使節団を迎える迎賓館。国指定の史跡。文化庁との協議が整い、令和10年の完成を目標に「東門」および外壁の復元が進みだしました。

それに係る費用はまだ出ていませんが、先に着手した潮見櫓の復元には約4億円かかるといわれています。体験型イベントの充実など復元した鴻臚館東門をどう活用していくのか、鴻臚館の知名度をどう上げていくのか、今後も注視してまいります。



参考イラスト／「国史跡 福岡城・鴻臚館」ホームページより



南区トピック

若久校区防災訓練に参加



9月21日、若久校区防災訓練に参加させていただきました。福岡市東区志賀島北西沖の玄界灘から博多湾、中央区、南区、春日市、大野城市、太宰府市を経て、筑紫野市に至る警固断層帯。ここ南区では西鉄電車と断層の位置が近く、地震の被害を最小限に抑えるべく、建物の耐震化が重要です。

また、8月8日に発生した宮崎県日向灘沖の地震は、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の対象となり、南海トラフ地震への警戒も高まるところです。南海トラフ地震が発生した場合、福岡市は震度5強と想定されており、物流が滞ることを考慮して、「7日間の備蓄」を推奨しています。地震発生の際には市の職員が避難所に駆けつけるとなっていますが、道路状況も分からない中、実際に到着するまでに時間がかかるとなると、なおのこと地域の力「共助」の重要性を痛感しました。

防災訓練当日は、気温も高く蒸し暑い日でした。避難先となった体育館には、空調がありません。今後、空調が設置される予定もありますが、市は、暑さ寒さ対策として空調がある教室などを使用するとしていますが、非常時の混乱した現場で、臨機応変に動くことができるのか、繰り返しのシミュレーションがいざというときの支えになると感じました。

南区には多くの外国の方も暮らしています。地震が少ない地域から来日した方もいれば、避難に対する知識もそれぞれかも知れません。そのため、外国人向けの防災訓練も実施しています。また、高齢者や障がいのある方など、災害発生時に支援を必要とする人に対して、自治協議会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員など、地域が連携して助け合う仕組みとして、避難行動要支援者支援計画の策定を進めていますが、その進捗は芳しくありません。

防災の仕組みが、点と点の対策ではなく、線として繋がり活かされるよう引き続き取り組んでまいります。



実際にテントや段ボールの間仕切りを設置して、避難所開設を行いました。(若久小学校体育館)



福岡市・防災アプリ
ツナガル+

こんなことが分かる!

- 1 お近くの避難所
- 2 避難所の設備
- 3 現在地の危険度

災害時には市からの支援情報も確認可能



iPhoneをお持ちの方



Androidをお持ちの方



ご案内

市政報告会・懇話会 開催します!

ご要望、ご質問、福岡市への要望などお聞かせください。当日は、いなとみ修二衆議院議員が来場予定です。

●12月8日(日) 若久公民館

※時間は10:00～11:00となります。

- ◎いずれも予約不要。当日、会場までお越しください。
- ◎お子様連れ、途中入退室も歓迎です。
- ◎車でお越しの方は、近隣駐車場をご利用ください。

小竹りか・プロフィール

【経歴】 筑紫女学園高等学校・福岡教育大学卒
東福岡特別支援学校、出版社、結婚・出産を経て行政書士。
2023年福岡市議選で初当選

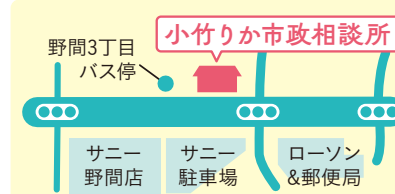
【所属】 経済振興委員会、少子・高齢化対策特別委員会
文化・スポーツ振興推進協議会、日韓友好福岡市議会議連盟理事

小竹りか市政相談所 お気軽にお立ち寄りください。

〒815-0041
福岡市南区野間3丁目4-1
川上ビル102号室

TEL.092-559-8155
FAX.092-559-8156

kotake.rika@gmail.com



福岡市民クラブ

議会通信

vol.101 | 2024年 秋号

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1福岡市庁舎議会議棟 福岡市民クラブ議員控室
Tel:092-711-4736 Fax:092-732-4055 https://fukuokashimin.jp/

第13回 福岡市民クラブ
議会活動報告会

当日の資料はこちら

9/8、9/13、9/28に実施された議会活動報告会では、「会派基本政策2023」の進捗や、今年度特に
お伝えしたい市政トピックなどについてご報告し、みなさまから多くのご意見やご要望を頂きました。

みみなさまのご参加
ありがとうございました！

令和6年 第4回 福岡市議会 (9月定例会) 開催

第4回定例会(9月4日~10月9日)が召集され、一般会計補正予算案、条例の改正、令和5年度決算に関する議案等、全52議案について審議しました。

議案より「マイナ保険証」に関連する条例案に反対！

【改正内容】 国民健康保険法の一部改正により「被保険者証」が廃止されることに伴い、条例中の関係規定を削るなど規定の整備を行うもの。※現行の(紙の)被保険者証を廃止するにあたり、マイナ保険証を有しない被保険者に代替措置として「資格確認書」を交付。

【反対理由】 国の法改正に伴う条例改正であることや、医療のデジタル化の必要性自体は認めるものの、マイナンバーカードと健康保険証の一体化について国民の理解が進まない中で、現行の紙の保険証を廃止することは事実上マイナ保険証への強制であり、任意取得原則の趣旨に反するとして、反対しました。

「ステップファミリー」に寄り添う支援を！

一般質問[9月5日] 勝見 美代 (西区)

子どもを連れて再婚や同居をしてできた新しい家族・家庭のことを「ステップファミリー」と言います。本市においては教師や子育て相談窓口の職員をはじめ、子どもと関わる職種の方へのステップファミリーに関する研修や、当事者の方が相談できるようなリーフレット等での広報は行われていません。ステップファミリー特有の子育てに関する悩みや、以前の家族との複雑な関係などが、虐待や不登校・DV等を引き起こす要因の一つとなりえることから、再婚件数の3割という割合を占めているステップファミリーについて、まずは実態調査に取り組むなど、ステップファミリーにもっと目を向けていただきたいと要望しました。

特定小型原動機付自転車のマナーとルール

一般質問[9月6日] 山田 ゆみこ (博多区)

昨年7月に道路交通法が改正され新たに定義された「特定小型原動機付自転車」(電動キックボード)を街中でよく見かけるようになりました。手軽で便利な乗り物ですが、不安定な面もあり、車や歩行者との接触事故が増加しています。この状況に対し、交通事業者や運輸事業者、一般ドライバーからは危険な運転に対する不安の声が上がっています。こうした懸念を受け、貸出業者や利用者に対して、利用者自身の安全を守るためのヘルメット着用や歩道走行時の注意喚起など、誰にでも分かりやすい周知を行うよう要望したところ、市政だよりや公式ウェブサイト、LINEを通じて広報を行うとともに、事業者にも安全利用促進を働きかけていくとの答弁をえました。

本市初の多様化学校は「百道松原中学校」に！

議案質疑[9月4日] 井上 まい (城南区)

来年の4月開校に向けて準備が進んでいる学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の校名が「百道松原中学校」に決定しました。今回設置される場所がかつて「百道松原」と呼ばれていたという歴史から名付けられたそうですが、同時に一般的な学校名の方が通いやすいという子どもの声にも配慮しこの校名になったとのこと。カリキュラムについても、当事者の声を重視しより通いやすい学校となるよう配慮される予定です。本市にも様々な理由で不登校となってしまった子どもたちが小中学校あわせて約4,400名いるとされています。今回は新たな中学校として開校しますが、小学生も対象となる学びの多様化学校の検討を早急に行うよう改めて求めました。

本市のインフラを守るセキュリティ対策を！

一般質問[9月6日] 前野 真実子 (早良区)

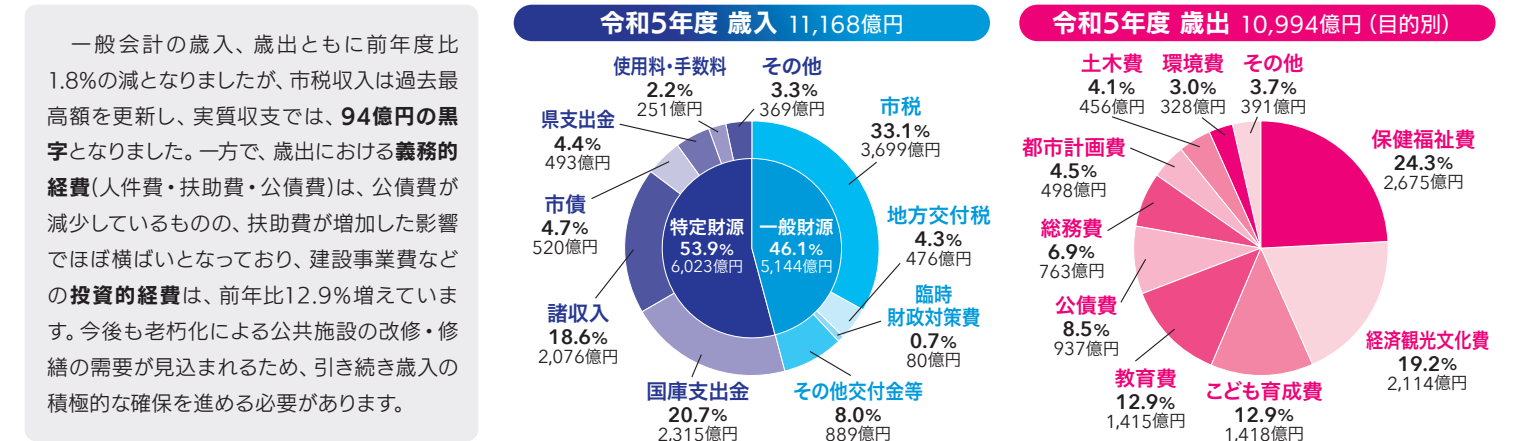
重要インフラのサイバーセキュリティ対策について、方針と現状について確認しました。本市所有のインフラ(水道、地下鉄、港湾、病院)においては、外部のネットワークを遮断して対応、との答弁に対し、それでは不十分であるため、サーバーやシステムの脆弱性を検証するペネトレーションテストの実施を提案、国の財政支援の必要性についても提言しました。また本市のセキュリティ人材の育成については、AIやIoTなどの研究をおこなっている外郭団体の九州先端科学研究所との連携を求めるとともに、インシデント発生時の体制が不明確であるため、方針の策定を求めました。本市の方針は、DXとサイバーセキュリティは両輪で進めると、確認しました。

キャリア教育のための体験型学習施設の整備

一般質問[9月9日] 落石 俊則 (東区)

子どもたちは多くの働く大人との交流を通じて、仕事の価値観や体験を通じて今の暮らしが社会とつながっていることを知り、将来の自分の姿を想像し、学習意欲が高まります。そのためにも、全ての子どもたちが、ものづくりや職業体験、仮想の商店街で疑似経済活動を体験できる施設が必要であり、京都市や仙台市等をモデルに体験型学習施設の整備の検討を求めました。博多港へのコンテナ船の入港数は増加傾向にあり、福岡県内だけではなく九州全体の経済を支えています。一方、労働環境の厳しさに加え、土日祝日勤務や不規則勤務等により、港湾労働者不足が常態化しています。本市が中心となり官民労連携で労働環境の改善を進めるよう要望しました。

令和5年度 決算特別委員会 開会 [9月19日(木)~10月8日(火)]



待ったなし！伊都の里に市の水道を！

総会質疑[9月20日] 田中 たかし (西区)

西区の「伊都の里」は企業管理の専用水道を使っていますが、災害時の復旧などに不安があることから住民は市の水道設置を求めてきました。しかし、伊都の里は給水区域と給水区域外が両存しており、給水区域を市水に切り替えると企業の経営が破綻し、給水区域外の専用水道の存続に支障を来すことから、水道局も企業も拒否しています。住人の意を汲み市水導入を求めて質しましたが、水道局は市水導入の要望が住人の総意であれば設置すると明言。一方、給水区域外の住人から同意を得るには困難も多いため、まずは、災害時の市の迅速な対処と、加えて、住人と企業との協議には水道局が立合うことなどを求め、これについては前向きな答弁を得ました。

毎年3校、老朽化校舎の建替え計画始まる

総会質疑[9月24日] 近藤 里美 (南区)

老朽化した学校施設にかかる費用は、大きな財政課題です。福岡市は、校舎の使用目標を80年に延ばしつつ、市内約240の学校施設を毎年3校ずつ建替える計画を立案。築年数の古い学校から協議を進め、まとまったところから順次実行に移すこととし、令和5年度は、吉塚中・筥松小・大楠小の3校の建替えが決定しました。建替えは、運動場側に新校舎を建設し、引越した後、旧校舎を解体するという反転が基本。これは、児童生徒への負担を軽減でき、引越しが一度で済むという利点がある一方、周辺地域の皆さまにとっては、住環境が大きく変わることになります。建替えの際は、地域の個々の声にしっかりと向き合って丁寧に進めるよう、要望しました。

令和5年度の一般会計決算を認定せず

決算審査方針に基づいた審議の結果、令和5年度一般会計決算について、会派として不認定と判断しました。令和5年度は、特に子育て政策の充実を全面に押し出し新規事業も多い年でしたが、「おむつと安心定期便」や、2年目を迎えた「子ども習い事応援事業」などの目玉事業について、利用率が低く、問題や課題が散見されました。年度途中で事業内容の改善や対象者の拡充などを求めていましたが改善されず、事業目的が達成されたとは言えないことが分かりました。最終日の討論の場で、その他の事業も含め、反対理由や決算から見た課題・改善点について述べました。

非正規公務員の給与・休暇等処遇の改善を！

総会質疑[9月24日] 池田 良子 (西区)

人口増加に伴う行政職員の増員は、5年間で正規職員191人に対し、会計年度任用職員(非常勤職員)は453人と全職員数の約3割へと増加しています。正規職員で担うべき業務を非正規に置き換えるべきではない事を指摘。さらに、人事委員会勧告で賃金が上昇しても、会計年度任用職員は翌年度から反映という不合理に対して、年度内に国の通知通り4月にさかのぼって支給すべきと指摘しました。障がい者差別解消条例の改正により、4月から「合理的配慮の提供」が民間事業者にも義務化されました。「合理的配慮の提供」とはどのようなことか具体的な対応を事業者に示すこと、併せて、段差解消のスロープ工事など配慮の提供を行う経費の助成制度を求めまし

民間企業への出資、基金の運用は適正か？

総会質疑[10月7日] 田中 しんすけ (中央区)

本市は現在、株式会社16社に対して合計約147億円を出資しており、その大半に本市職員(OB含む)から役員を派遣しています。今回の総会では幾つかの出資事例を取り上げて質しましたが、「今後も出資を継続する必要があるのか」「果たして出資額は妥当なのか」という点において疑問が残る結果となりました。また、本市が保有する基金については、その数は全部で36基金、総額は約4,800億円にも上ります。今回の質疑では4つの基金を取り上げて、それぞれの基金の運用方針、残高の根拠などを質したところ、これらが明文化されていない状況が明らかに。恣意的な運用に陥らないように、基金の運用方針は要綱を作成して明記することを強く求めました。

国に対し意見書を提出、可決！

9月定例会に際し、福岡市民クラブより2点提出。他会派立案の意見書3点も含め審議しました。可決した意見書は、下記の通りです。

内 容	立案者
地方財政の充実・強化を求める意見書	市民ク
建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書	市民ク
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築を求める意見書	公明

※市民ク=福岡市民クラブの略